

○目標・方針

<p>中期的な学校運営の目標・方針</p> <p>【学校教育目標】</p> <p>ふるさとを愛し、みんなとともに未来を創る 前山っ子の育成</p> <p>～ きのうよりも 一歩のびる ～</p>	<p>本年度の重点目標</p> <p>○居場所のある学級、なかまづくりといじめや不登校のない学校づくり</p> <p>○「地域とともにある学校づくり」の推進による活力ある学校づくり・・・コミュニティスクールの実現に向けて</p> <p>○知識・理解の質を高めつつ、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>○特別支援教育の充実</p> <p>○「たんばふるさと学」の推進によるふるさとへの愛着と誇り、自らを活かそうとする態度の醸成</p> <p>○地域に愛着と誇りの持てる防災教育の推進</p> <p>○「自己有用感」を伸ばさせるキャリア教育の推進</p>
---	---

○自己評価

領域	評価の観点	評価項目	達成状況	学校の取り組み状況と改善の方策
学校運営	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・暴力ゼロ市民運動の推進</li> <li>不登校対応</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめアンケート及び個別面談を毎学期継続実施し、いじめ対応マニュアルによる早期対応の取組ができた。</li> <li>いじめ・暴力ゼロ市民運動に参加し、児童への発表を実施した。</li> <li>欠席1日目から、家庭への電話連絡や訪問を行った。</li> <li>不登校対応委員会を定期開催し、対応方針を確認した。</li> <li>不登校傾向の児童に対し、職員全員で関わった。</li> </ul>
	開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な情報発信</li> <li>オープン参観日等の実施</li> <li>アンケートの実施や学校評価の公開</li> <li>コミュニティ・スクールの実現に向けた体制整備</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方との交流のある行事の継続や学校生活の様子が伺える下校放送を継続する。</li> <li>学校だよりやホームページによる学校生活の紹介を実施する。</li> <li>学校や児童の様子の積極的公開と、地域の方との交流のある学校行事の継続設定ができた。</li> <li>学校評価アンケートを実施し、各種委員会を中心に考察することができた。今後、地域や保護者に公開する予定である。</li> <li>コミュニティ・スクール地域懇談会を実施した。地域の方と「めざす児童像」を共有することができた。今後は、準備委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクール実施に向けて進めていく。</li> </ul>
教育課程	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上</li> <li>授業改善・道德教育の充実</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力学習状況調査等の結果分析をし、全職員が共通理解をして、指導の工夫と授業改善に取り組んだ。</li> <li>子ども同士がつながり、学び合い、高め合う授業づくりの推進に取り組んだ。(算数・道德の実践を通して)</li> <li>道德の講師招聘による授業研修を実施し、授業の組み立て方や評価の在り方を学んだ。</li> </ul>
課題教育	特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の特性や課題に応じた指導支援</li> <li>適切な就学指導</li> <li>保護者との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の教育支援委員会を開くことにより、個々の課題や特性に対して保護者の思いに沿った支援方法を考え実施することができた。また、保護者の思いに寄り添った就学支援ができた。</li> <li>関連機関との連携による支援体制づくりや、支援体制への柔軟な対応ができた。</li> <li>4月のPTA総会で保護者啓発をすることができた。</li> <li>今後も引き続き、保護者との連携を図っていく。</li> </ul>
	ふるさと教育・防災教育・キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育の充実</li> <li>たんばふるさと学の推進</li> <li>キャリア教育の推進</li> <li>地域人材の活用やPTA等との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育を組み込んだ総合的な学習の時間の年間指導計画と生活科年間指導計画の実施ができています。</li> <li>総合的な学習の時間や生活科、クラブ活動、農業体験を通じ、地域からゲストティーチャーを招聘したふるさと学の推進、地域人材やPTAとの連携によるすこやか水田の米作り体験ができた。</li> <li>たんばふるさと学の内容を組み込んだキャリア教育の年間指導計画の実施ができています。</li> <li>地域懇談会の結果をふまえたキャリア教育全体計画の見直しが必要である。</li> </ul>

○学校関係者評価

自己評価の各観点に対する評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止等の学校基本方針に基づき、いじめアンケートを定期的に実施し、早期発見・早期対応に努めている。</li> <li>いじめを発見した場合には、迅速に事実を確認し、児童への指導を行い家庭へも当日に連絡するという一連の取組によりいじめの早期解決を図っている。</li> <li>定期的にケース会議を実施し、関係機関と連携を図り、欠席日数が増えないような不登校対応を行っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の様子がよくわかる下校放送を行うことで、学校が身近に感じられる。今後も継続してほしい。</li> <li>オープンスクールや学校便りで学校の様子がよくわかる。さらにホームページによる広報活動を積極的に行ってほしい。</li> <li>年間を通じて学校と地域住民がつながる活動が意図的になされている。参加している地域住民も子ども達とふれあうことに楽しさを感じている。</li> <li>コミュニティ・スクール地域説明会や地域懇談会を実施し、コミュニティ・スクールが実現できるように推進できたことを評価したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンスクールや前山タイムなどで学習の様子を参観してきた。1年を通して振り返ってみると、子ども達の成長を感じる。特に人前で発表する力がついている。</li> <li>先生が教室にいないのに子ども達だけで考えながら学習している姿に感心した。先生方を見ているとつい先のことを指示したくなるようだが、子ども達に任せてみることも大切だと思う。自主性を育てる取組をお願いしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の支援の在り方について、教育支援委員会を定期的に開催し、支援方法や体制を共通理解しながら、行っているのがよい。今後も関係機関と連携し、よりよい支援を行ってほしい。</li> <li>特別支援教育に関する保護者啓発は大切なことであるので、今後も継続して行ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>豪雨災害の教訓を生かし、どの学年も計画的に防災教育を進めている。また、防災教育に関する授業公開も積極的に行っているのがよい。</li> <li>来年度、コミュニティ・スクールの実施により、さらに充実したふるさと教育が展開され、ふるさと交流が深まることを期待している。</li> <li>ゲストティーチャーとして授業に参加していると、子ども達が落ち着いているのを感じる。本読み会では、静かに聞いたり身を乗り出して聞き入ったりしている姿がよい。</li> </ul>

自己評価の実施方法についての評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>児童、保護者、教職員に対して評価項目に沿ったアンケートを実施し、その結果を評価の参考にしている。</li> <li>校内委員会でアンケート集計を行い、集計結果を学級懇談で配付し意見を求めている。</li> <li>各種委員会で該当項目について自己評価し改善方を考えている。</li> </ul>
--

学校関係者評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の各種委員会を計画的に実施し、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。</li> <li>一人ひとりの学力の定着状況を把握し、個の課題に応じた指導を行い、学力を向上させてほしい。</li> <li>コミュニティ・スクールの運営を通して、ふるさと教育・防災教育・キャリア教育を充実させ、児童の自主性を育ててほしい。</li> </ul>
--

学校関係者評価を受けての次年度の改善の方向性について

本年度は、学校教育目標に「ふるさとを愛し、みんなとともに未来を創る前山っ子の育成 一きのうよりも一歩のびる」を掲げ、いじめゼロ・不登校ゼロに近づけるため、関係機関と連携を深めながら組織的に子どもの居場所づくりを行ってきた。また、平成31年度コミュニティ・スクールの実現に向け、地域とともに「めざす前山っ子像」を共通理解し、社会に開かれた教育課程の編成準備に取り組むことができた。

次年度は、コミュニティ・スクールによる学校運営を行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた研究を行い、児童の学力向上を図っていききたい。

平成31年3月22日

学校名 丹波市立前山小学校  
校長名 堀 博文 印